'06

ふそう王子より情報

Winter

FUSO

写真は撮影用特別仕様車

新長期（平成17年）排出ガス規制

新型キャンター誕生

呼応する、高性能。 ドライバーの視点からひとつひとつ性能を磨き込んで、三菱ふそうキャンター誕生。インタークーラーターボディーゼルを併せ、新開発の再生制御式DPFを標準装備。世界でもっとも厳しいとされる新長期（平成17年）排出ガス規制をクリアするとともに、PM排出量は規制値の10%低減レベルを達成しました。

いちだんと高められた環境性能

低排出ガス重量車認定
（平成17年排出ガス規制基準PM10%低減）

- 新長期（平成17年）排出ガス規制適合
- 低排出ガス重量車認定（平成17年排出ガス規制基準PM10%低減）
- 八都県市・京阪神7府県市（LEV-7）指定低公害車
- 自動車NOx・PM法適合　●再生制御式DPF新採用

八都県市指定低公害車

京阪神7府県市指定低排出ガス車

Clean Power

新長期（平成17年）排出ガス規制に適合したインタークーラーターボエンジン

従来のクリーン機構に加え、新たに高精度クールドEGRシステムを採用したインタークーラーターボディーゼルを採用。吸入空気量の増大をはかり、燃焼効率を向上させPM排出量を大幅削減。新長期（平成17年）排出ガス規制をクリアしました。

高精度クールドEGRシステム

排出ガスの一部をEGRクーラーで冷却し、燃焼室へ再循環させることで燃焼温度を低下させます。また、エアフローセンサーを追加することで高精度化を実現。吸入空気量と燃料噴射量から空燃比を正確に計測し、運転条件に合わせた最適なEGR制御を可能にしました。

Ecology

再生制御式DPF

強力酸化触媒とセラミックフィルターで構成された再生制御式DPFを採用。前段酸化触媒はPMを連続的に浄化、フィルターに一定量PMが堆積した場合は自動再生により燃焼除去します。さらに再生時の排出ガス浄化のために後段にも酸化触媒を配置、再生頻度も少なく燃費性能を高め経済性に貢献しています。

本格的な冬は、もう目の前。

安全整備で安心ドライブ!!

路面凍結に備えて、タイヤチェーンの準備も忘れずに!

冬は人間だけではなく車にとっても過酷な季節。特に負担が掛かるのがバッテリーです。エンジン始動や電装品類に欠かすことのできないバッテリーは、外気温が下がると機能が低下してしまいます。バッテリー液の補給や交換など、早めのメンテナンスでトラブルを未然に防ぎましょう。また燃費向上のためにも、気温に合った粘度のエンジンオイルに交換することをオススメします。

ブレーキトラブルを予防するために。
しっかり定期交換! 4ページ

地球と人へのやさしさを両立。
ハイブリッドシステム 5ページ

エンジン部からの振動には要注意!!
マウントラバーの点検 6ページ

やってはいけない、やらせてはいけない!
不正改造のあれこれ 7ページ

エアクリーナーの点検が経費節減に効く。
エレメントの清掃&交換 8ページ

安心・安全にお使いいただくために!
覚えておきたいこと 9ページ

季節毎の交換が燃費向上につながる。
冬のエンジンオイル 10・11ページ

★ エンジンオイルプレゼント （詳しくは10・11ページをご覧ください）

大型トラック・大型バス
トラブルを予防するために！

フルエアブレーキ（関連部品）定期交換のススメ

優れた応答性と制動力の高さが特長のホイールパーク付きフルエアブレーキ（ブレーキチャンバ）。
しかし関連部品には、定期点検時にその後の安全使用可能期間を予測することが難しいものもあります。特に重要な役目をもつ部品は定期交換部品に指定され、交換時期を定めています。
時期を迎えた車両は、性能維持と安全確保のためにも積極的に交換しましょう。

＜ 定期交換対象車両 ＞

フルエアブレーキを装着している
大型トラックおよび大型バス

※中型トラック・バスにもフルエアブレーキが装着されている車両があります。交換時期など各車両のメンテナンスノートをご確認ください。

＜ フルエアブレーキ関連部品の定期交換時期 ＞

保安部品 定期交換部品	定期交換時期
エアドライヤの乾燥剤・フィルターおよびゴム	1年または100,000km
ブレーキホース	2年
ブレーキ用機器のゴムおよびパッキン類	
ブレーキチャンバのホイールパークスプリング部およびウェッジ式エキスパンダーゴム部品	3年

※年式、機種により交換部品が異なります。詳しくは各車両のメンテナンスノートをご確認ください。

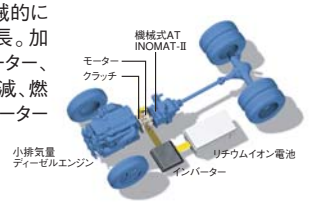
写真は撮影用特別仕様車

地球にやさしく、低燃費 それがハイブリッドシステム

エコ&イージードライブをコンセプトに開発された、独自のハイブリッドシステム。モーターとエンジン双方による駆動・制動を、コントロールユニットが最適に制御。ドライバーの運転技術だけでは不可能な燃費向上と、排出ガスの低減を実現しています。

パラレル方式ハイブリッドシステム

パラレル方式はエンジンからタイヤまでが機械的につながり、動力の伝達ロスが少ないのが特長。加えて、「キャンター エコ ハイブリッド」は、モーター、エンジン双方での駆動が可能と、CO_2の低減、燃費の向上に効果を発揮します。エンジンやモーターなどの駆動・制動のコントロールはINOMAT-ⅡのECUが行います。



クラス※初、新長期（平成17年）排出ガス規制に適合

DOHC16バルブ インタークーラーターボディーゼル
92kW（125PS）/3200rpm（ネット）

■ 4M42（T2）：直接噴射式ディーゼル
■ 最大トルク：294N・m（30.0kgf・m）/1700rpm（ネット）
■ 総排気量：2,977cm³（cc）

「ネット」とはエンジンを車両に搭載したのとほぼ同じ状態で測定した数値です。　※国内小型トラッククラス

低燃費走行を実現

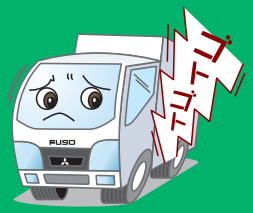
●ハイブリッドシステムによる先進エコドライブ
減速時のエネルギーをバッテリーに充電。燃料を最も消費する発進時には、そのエネルギーによりモーターのみでスタートし、燃料消費を抑制。

●INOMAT-Ⅱの低燃費パフォーマンス
INOMAT-Ⅱが最適ギアを選択し、ドライバーの運転技術に関係なく低燃費走行が可能。

●ISS（アイドリングストップ&スタート）のエコドライブテクニック
停車時のアイドリング燃料消費をカット。再発進の際はモーター始動となり、ハイブリッドとISSの相乗効果により、さらなる燃費改善を実現。

エンジン部の振動は エンジンマウントラバーの赤信号!?

大・中型トラック・バス



エンジンマウントラバーには、エンジンの重さ以外にも車両を動かす際の動力や路面の凹凸による突き上げが大きく影響します。特に重量物運搬や山岳路・悪路走行などをする機会が多い車両ほど寿命が短くなる可能性があります。さらにオイルや軽油等が付着するとゴムの劣化を早め、場合によっては損傷してしまうこともあります。忘れずに点検・整備を受けましょう。

■ 点検理由と注意事項

エンジンマウントラバーは経年変化で劣化する消耗部品です。しかも、重量物運搬など高負荷運転の頻度が高い車両は要注意。ゴムの伸び縮み量が大きくなるため、通常よりも寿命が短くなります。違和感を感じたら、定期点検対象外の車種でもチェックが必要です。

エンジンマウントラバーは例え1個が破損しても運行に支障はないため、破損に気付かずそのまま車両に乗り続けてしまう可能性があります。その結果トランスミッションコントロールロッドの外れや冷却水用ホースの損傷など、2次的不具合を起こす場合があります。

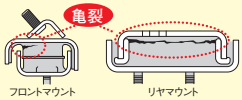
エンジンマウントラバーにオイルやグリースといった油脂、軽油等を付着したまま放置することもNG。油分がゴムそのものの劣化を早め、寿命を短くしてしまいます。油脂・軽油等が付着している場合は、速やかに拭き取るなどの点検作業が必要となります。

加減速時にゴトゴト音がするなど おかしいなと感じたらお早めに
三菱ふそうサービス工場で点検・整備をお受けください。

定期点検整備時等に行うエンジンマウントラバーの点検整備

1 エンジンマウントラバーの点検は、目視で行います。損傷の度合がわかりにくい場合はガレージジャッキ等を使用し、トランスミッションケースの後側下面に当て板のうえ持ち上げ、荷重を減少させてから確認します。
（クラッチハウジングおよびフライホイールハウジングには、絶対にジャッキをかけないよう注意し行います）

2 エンジンマウントラバーの損傷、油脂・軽油等の付着によるゴムの劣化がある場合は新品に交換します。



※'04年型の一部車種から、エンジン及びトランスミッションのマウントラバーは、12か月毎の点検対象部位となっております。

不正改造

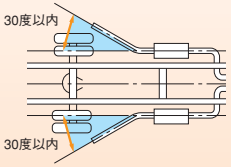
やらない、やらせない。

違反の中身を、
あなたは分かっていますか?

やってはいけない テールパイプの改造

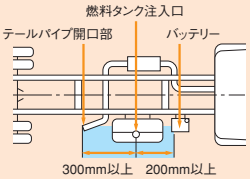
テールパイプの開口部が真横を向いていてはいけません。

テールパイプ（排気管）の開口部の方向は、歩行者や他の交通に障害を与えないよう規定の角度（30度以内）におさまっていなければなりません。



テールパイプの開口部が燃料タンクに近すぎてはいけません。

テールパイプの開口部は、開口方向の角度に関係なく燃料タンクの注入口・ガス抜口から300mm以上の距離が必要です。また、バッテリーやバッテリー・スイッチも200mm以上離れていなければなりません。



やってはいけない 燃料タンクの改造

燃料タンクの増設には構造等変更検査などの手続きが必要です。

燃料タンクの増設や大容量タンクへ乗せ替えた場合は、車両重量が増加します。そのため自動車検査証の記載事項変更手続きのほか、必要に応じて構造等変更検査を受けなければなりません。

やってはいけない ホイールキャップの改造

タイヤおよびホイールは車体（フェンダー）外へはみ出してはいけません。

車体外への突出は保安基準不適合となりますので、交換または取り外してください。歩行者等への危害のほか車体やブレーキ機構への干渉など、事故および車両故障の原因になります。

重要 ホイールキャップ等後付け部品に関するお知らせ

当社純正品（ホイールキャップ、センターキャップ、ナットキャップ）が、装着車両によっては保安基準不適合となる場合があります（前軸装着の場合）。該当車は対策品へ交換あるいは取り外し*させていただいております。なお、純正・社外品に関わらず部品適用外車両への装着で車体外突出が認められた場合は対象にはなりません。ただし保安基準不適合となりますので、正規純正品への交換または取り外していただく必要があります。

＊：取り外した場合は返金いたします。

【点検方法】車両に部品が装着された状態で最外側部から下げ振りを垂らし、ホイールの中心に糸を合わせます。回転部分が糸より突出している場合は、保安基準不適合となります。

車両の前軸に装着した当社純正品が保安基準不適合の場合は、
最寄りのふそう販売店までご連絡ください。

省燃費のための整備術!

エアクリーナーの汚れは燃費に悪影響!

近ごろ燃費が悪い!? と感じたら、エアクリーナーをチェック! エレメントがホコリ等で目詰まりを起こすと、エンジンの燃焼効率が落ち燃費が悪化します。なお清掃時期前にエンジンの出力不足等を感じた場合は、エレメントの清掃または交換をオススメします。経費節減のためにしっかり点検しましょう。

キャンター（ディーゼル車）の清掃・交換方法

清掃

清掃時期	自家用:6か月毎（距離項目） 事業用:3か月毎（距離項目）

※走行距離が1か月に10,000km以上や走行距離の30%以上が悪路など、厳しい使われ方（シビアコンディション時）の場合は1か月ごとに点検を行います。

エレメントを打ち付けたり過度に圧縮空気を吹き付けると、損傷する恐れがあります。また頻繁な清掃作業は、エレメントを損傷したりエンジン内部に異物を吸い込む原因となるので注意してください。汚れがひどい場合は時期に関わらず新品に交換してください。

【エアクリーナーの清掃手順】

清掃の際はホコリを吸わないよう防塵マスク等を使用してください

1. エンジンを必ず止めて、駐車ブレーキが確実に効いていることを確認します。
2. タイヤに輪止めをかけます。
3. 3箇所あるクランプを外し、カバーとダストカバーを取り外します。
4. エレメントの下部を持ち、まっすぐ抜き取ります。
5. エレメントの内側から外側に向け圧縮空気686kPa{7Kgf/cm²}以下を吹き付け、ホコリを落とします。
6. エレメントの内側からライトを当て、ろ紙に破損や薄くなった部分がないか点検します。またパッキンが破損していないか確認します。
7. エアクリーナーケースおよびカバーの内側に付着しているホコリを、ウエスなどで拭き取ります。
8. エアクリーナーケース、ダストカバー、カバーの合いマーク（矢印）を合わせ、クランプで確実に取り付けます。

※エレメントは確実に取り付けてください。パッキンの損傷やクランプに緩みがあるとホコリ、異物を吸い込み、ピストンやライナー等の寿命が短くなります。

交換

交換時期	40,000km毎

エレメントは、必ず三菱ふそう純正品を使用してください。廃却する場合は、地方自治体の定める条例に従い処理してください。処理にお困りの際は、三菱ふそうサービス工場に依頼しましょう。

※車種、年式により清掃・交換方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書をご確認ください。

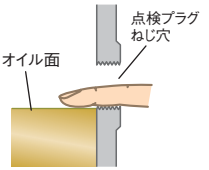
トランスミッションオイル 点検・補給時の注意点

覚えておきたい 1

トランスミッションオイルが不足すると、トランスミッション内部で潤滑不良が発生しやすくなります。点検は確実に行い、焼付き等のトラブルを未然に防ぎましょう。

トランスミッションオイルの油量確認方法

点検プラグ穴に**指を真っ直ぐ差し込みます**。差し込んだ指にオイル面が当たらないときは油量不足となりますので、プラグ穴の口元までオイルを補給しましょう。補給後は、必ず**1分以上放置**したうえで油量の確認を行ってください。



ピラーグリップの点検

覚えておきたい 2

キャンター・ファイターミニヨン

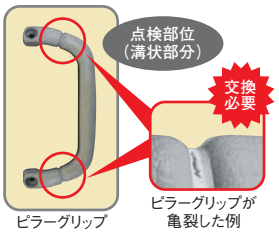
ピラーグリップは、経年劣化で亀裂が発生することがあります。亀裂が入ったまま乗り続けると折損してしまう場合もありますので、亀裂はもちろん取付部のゆるみ、ガタつき等もあわせて点検してください。

対象車両

- **キャンター&キャンターガッツ（1993年～2002年製）**
  型式:FA5、FB5、FC5、FD5、FE5、FE6、FF6、FG5、FG6
- **ファイターミニヨン（1994年～2002年製）**
  型式:FH2

ピラーグリップの確認方法

点検部位（○で囲った部分）を目視で確認してください。
（室内側、室外側共に確認）



ピラーグリップ確認後の対応

亀裂している場合は、室内側、室外側どちらか一方のみでも速やかに交換してください。なお該当部分が若干白く変色（白化）している場合は、交換の必要はありません。

その他の注意点　ピラーグリップ以外の樹脂部品に損傷や亀裂、変形、劣化等がある場合は、速やかに交換または修理してください。

燃費向上にも一役！

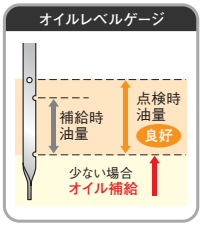
冬のエンジンオイル

エンジンオイルは気温によって粘度が変化するため、季節ごとに適正なオイルに交換してください。夏用の高粘度オイルをそのまま使用し続けていると、摩擦による損失が増え燃費が悪化してしまいます。
省燃費のためにも定期的な点検・交換を心掛けましょう。

点検

オイル量を点検する際は、平たんな場所で、エンジン始動前もしくはエンジン停止後30分以上経ってから行ってください。

1. オイルレベルゲージを抜き取り、付着しているオイルを布で拭き取ります。
2. 再度オイルレベルゲージをいっぱいに差し込み、静かに抜き取ります。
3. オイルレベルゲージに付着したオイルの位置が、点検時油量の範囲内であれば良好です。
4. オイル不足の場合は、補給時油量の範囲内に収まるよう補給します。またオイルが著しく汚れている際は交換しましょう。
5. 点検後は、オイルレベルゲージをいっぱいに差し込みます。



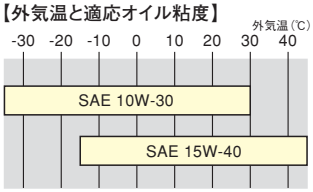
※車種、年式により点検・交換方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書をご確認ください。

新型キャンター指定オイル

ふそうエンジンオイル DH-2（JASO DH-2）

エンジンオイルはエンジンの寿命や始動性に影響しますので、必ず指定のオイル及び粘度のものを使用してください。

【外気温と適応オイル粘度】



■ オイル量

オイルパン	▶約6.5dm³{6.5ℓ}
オイルフィルター	▶約1dm³{1ℓ}

■ 点検・交換時期

点検時期	▶日常（運行前）点検
交換時期	▶15,000km毎

※新車時の第1回目の交換は1,000km走行時に行います。

交換

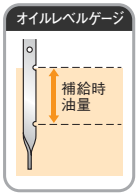
やけどするおそれがありますので、走行直後は交換を行わないでください。また、補給時に排気管などにエンジンオイルをこぼしたままにすると、火災を起こすおそれがありますので必ず拭き取ってください。

1. オイルフィラーキャップを、補給時にゴミ等が入らないよう周りを清掃してから外します。

オイルフィルターも交換しましょう

2. ドレーンプラグを外しオイルを排出します。オイルが完全に抜けたら、新品のガスケットを正しい位置で取り付けプラグを締付けます。

締付けトルク ▶▶▶ 39.2N・m{4kgf・m}



3. オイルフィラーからオイルを補給します。
4. オイルフィラーキャップを閉め、10分以上経ってからオイル量を点検します。
5. アクセルを踏み込まないでスタータースイッチを“START”にし、約15秒間エンジンを空回しした後、エンジンを始動しアイドリング回転にします。

※エンジンを始動する際に、インジケーターランプの消灯を待つ必要はありません。

6. エンジン停止後30分以上経ってからオイル量を点検し、不足している際は補給します。またオイル漏れがないか確認してください。

そろそろオイル交換と思っていた方に
ビッグなプレゼント！

ご応募いただいた方の中から
抽選で25名様に

エンジンオイルプレゼント！

三菱ふそうのトラック・バス限定（1台分）

締め切り 平成19年1月20日（当日消印有効）

※ご利用はご当選者本人に限らせていただきます。他人への譲渡は出来ません。
※現金とのお引き換えはご容赦ください。　※三菱ふそう関係者は応募できません。

工賃込み

■ 応募方法

官製ハガキに『耳より情報 エンジンオイルプレゼント応募』と明記のうえ、お名前、車種名、勤務先（会社名・住所・郵便番号・電話番号）、オイル交換を受ける三菱ふそう販売店名と支店・営業所名を必ずお書きください。さらに本誌に対するご意見や取り上げてほしい話題などをお書きのうえご応募ください。（記載された支店・営業所でのみ交換となります。）

■ 応募宛て先

〒104-8172　東京都中央区築地一丁目13番1号
株式会社アサツー ディ・ケイ内
『三菱ふそう 耳より情報』事務局宛

※当選者発表は、引換券の発送（勤務先にお送りします）をもちましてかえさせていただきます。
引換券を記載いただきました販売店の支店・営業所までお持ちください。
※ご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送以外の目的では利用いたしません。

ひとくち NAVI

聴くだけで リラックス!

音楽の不思議

普段何気なく聴いている音楽には不思議な力があるといわれています。例えば穏やかなクラシックは深い眠りを誘い、ダンスミュージックは仲間意識を高めるなど。とはいえ、すべての人に効果があるわけではありません。興味のない人が無理矢理聴くことで、逆にストレスを感じてしまうこともあるのです。

ではリラックスできる最高の音楽とは何でしょう。それは「聴きたい時に聴く曲」です。ヘビーメタルなどの激しい音楽でも、好きな人が聴けば体温が上昇し筋肉の疲れがやわらぐのだそうです。

近ごろ話題の音楽療法には「同質の原理」という言葉があり、まずは自分の気持ちを伝えてくれるような音楽を聴くことが大切と考えられています。落ち込んでいるときはテンポの遅い曲、逆の場合はハイテンポの曲を聴くことで心のバランスを保てるのです。運転に集中できる曲や、渋滞のストレスを解消するための曲など、自分にぴったりの音楽を探してみてはいかがでしょうか♪